

特別史跡加曽利貝塚の解明に向け、新たに発掘調査を開始します！ ～本格調査第2期のスタート！環状貝塚中央部の解明を目指して～

千葉市では、平成29年度から令和元年度に第1期調査として、貝塚で日本初の特別史跡に指定された加曽利貝塚の本格的な発掘調査を半世紀ぶりに行い、縄文時代晩期の集落と大型住居跡の存在を明らかにしました。

今年度は、第2期の発掘調査の初年度として位置づけ、10月1日（木）から実施しますので、お知らせします。

1 趣旨・目的

平成29年3月に、これまでの加曽利貝塚の発掘調査の成果を取りまとめた『史跡加曽利貝塚総括報告書』を刊行し、加曽利貝塚の全体像を示すことができた一方、集落と貝層の変遷の把握をはじめ、新たな解明すべき課題も明らかになった。

そこで、加曽利貝塚の構造や形成過程などを解明するため、発掘調査を新たに実施していくこととし、平成29年度から令和元年度にかけて加曽利貝塚の集落の終末期の様相の解明を目指した第1期の調査を実施した。

今年度から開始する第2期の調査では、馬蹄形をなす南貝塚中央部を発掘区に定め、発掘区内に存在すると想定される昭和39年調査トレンチの再発掘と貝塚の中央部の様相把握を目的とする。

2 実施概要

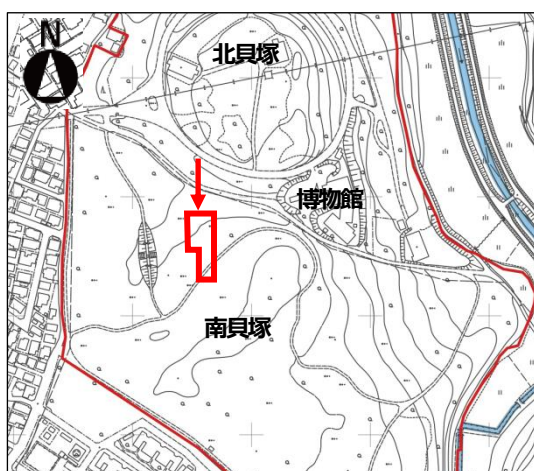
(1) 調査期間

令和2年10月1日（木）～11月28日（土）

※日・月曜日、祝日（11月3日、23日）、11月24日および雨天の場合は調査休止。

(2) 調査場所


特別史跡加曽利貝塚 南貝塚 896㎡



令和2年度発掘調査の位置



現地の様子（左図の矢印方向から撮影）

※  …… 発掘調査範囲

(3) 調査内容

- ア 調査範囲内の遺構分布状況の確認
- イ 範囲内に含まれる昭和39年調査トレンチの再発掘

(4) 調査工程 (予定)

- ア 準備作業 9月14日(月)～
- イ 調査開始 10月1日(木)～
- ウ 昭和39年調査トレンチ発掘 10月上旬～
- エ 排出土のふるいがけ作業 10月上旬～
- オ 遺構の確認・調査 10月下旬～
- カ 記録作業等の終了 11月27日(金)
- キ 現地説明会 11月28日(土)
- ク トレンチ・遺構埋戻し 11月30日(月)～
- ケ 撤去作業 12月18日(金)

(5) 調査実施機関

千葉市埋蔵文化財調査センター 職員2名・発掘調査員2名・作業員9名 計13名体制

3 見学者への対応

発掘調査に関して広く知っていただくため、現地で説明会などを開催する。

(1) 現地説明会 (令和2年度調査成果の速報)

- ア 開催日時
11月28日(土) ①10:00～12:00 ②13:00～15:30
- イ 内容
(ア) 調査の目的、概要の説明
(イ) 調査成果の説明
- ウ 参加方法
事前申込制

※申込方法など詳細は、10月下旬に発表予定。

(2) 学芸員 (発掘担当職員) による現地ガイド

- ア 開催日時
調査期間中における発掘実施日の14:00～14:15
※調査休止日、雨天中止の場合を除く。
- イ 内容
調査成果の説明
- ウ その他
参加無料、事前申し込み無し

4 情報発信

ホームページ及び現地掲示板で情報を定期的に発信する。

(1) 以下の加曽利貝塚博物館ホームページの「発掘調査日誌」ページで、随時、発掘調査の様子を発信する。(※随時更新)

【URL】 <https://www.city.chiba.jp/kasori/news/2020chousadiary.html>

(2) 現地掲示板 (※毎週更新)

ア 設置場所

発掘調査地点脇

イ 掲示内容

(ア) 発掘調査の目的、概要

(イ) 前週までの調査成果

(ウ) 今週の調査予定

5 報道機関向け現地レクチャーの開催

現地において、報道機関向けのレクチャーを開催する。

(1) スケジュール等

ア 日時

令和2年11月10日(火) 14:00から

イ 工程等

遺構の確認・調査

ウ 内容

遺構の確認状況と現地説明会の案内を行う。

(2) 取材申込等

現地でのレクチャー等への参加を希望される方は、実施日の10:00までに文化財課(電話245-5960)へ事前にご連絡ください。

※レクチャー当日、加曾利貝塚博物館入口に集合ください。

(3) その他

現地説明会の詳細は、10月下旬に別途周知予定。

＜参考＞加曾利貝塚における過去の主な発掘調査

- 昭和37年 北貝塚東側貝層部2か所の確認調査
(加曾利貝塚の重要性を確認し、保存運動を推進するための調査)
※竪穴住居跡や人骨を発見し、北貝塚が縄文中期～後期の集落であることを確認。
- 昭和39年 南貝塚の貝層部全体を対象とした確認調査
(保存運動を推進するための確認調査)
※南貝塚が馬蹄形の形であることを確認したほか、住居跡や埋葬人骨を発見し、南貝塚が縄文時代晩期の遺構であることを確認。
- 昭和40～43年 北貝塚の公園整備、博物館整備に伴う事前調査
(北貝塚貝層断面観覧施設、住居跡群観覧施設、旧大須賀家住宅移築などの整備に伴う調査)
- 昭和45～47年 市立老人ホーム建設に伴う予備調査
(南貝塚東側傾斜面一帯の遺構を確認するための確認調査)
※縄文前期～後期の住居跡などを発見し、傾斜面一帯も縄文集落であったことを確認したほか、坂月川に面する東側傾斜面先端を船着場と推定。
- 平成元～2年 史跡整備に伴う事前調査
(南貝塚貝層断面観覧施設、復元集落などの整備に伴う確認調査)
- 平成24・26年 加曾利貝塚限界確認調査
(史跡の範囲を確認するための調査)
※史跡北側の集落の広がりを確認。これを基に平成28年度に追加指定申請。
- 平成29年～令和元年 加曾利貝塚の構造や形成過程解明のための調査
(南貝塚、縄文時代晩期の遺構を中心とする発掘調査)